

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

事後評価書

平成28年3月17日

計画の名称	1 下水道整備における「良好な住居空間作り」					
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	東京都 瑞穂町			
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備、宅地開発に伴う浸水被害を軽減し、衛生的且つ快適な生活環境の向上を目指した下水道の整備事業を進める。</li> </ul>					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚水の整備率を89.8%(H21末)から91.3%(H25)に増。</li> <li>雨水の整備率を45.6%(H21末)から約46%に増。</li> <li>下水道総合地震対策計画を策定する。</li> </ul>					
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考
			当初現況値	中間目標値	最終目標値	
			(H22当初) 89.80%	(H24末) 90.81%	(H25末) 91.3%	
			45.60%	45.60%	(H26末) 46.0%	
			0.00%	0.00%	(H25末) 100.00%	
汚水整備率	汚水整備済面積（ha）／下水道法による汚水事業計画面積（ha）					
雨水整備率	雨水整備済面積（ha）／下水道法による雨水事業計画面積（ha）					
下水道総合地震対策計画策定率	計画策定済面積（ha）／瑞穂町全体面積（ha）					
全体事業費	合計 (A+B+C)	695百万円	A	695百万円	B	C
						効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成28年 3月17日
瑞穂町社会資本整備総合交付金評価委員会で評価を実施委員は、都市計画やまちづくりに関する有識者（第三者）	公表の方法
	ホームページでの公表

1. 交付対象事業の進捗状況

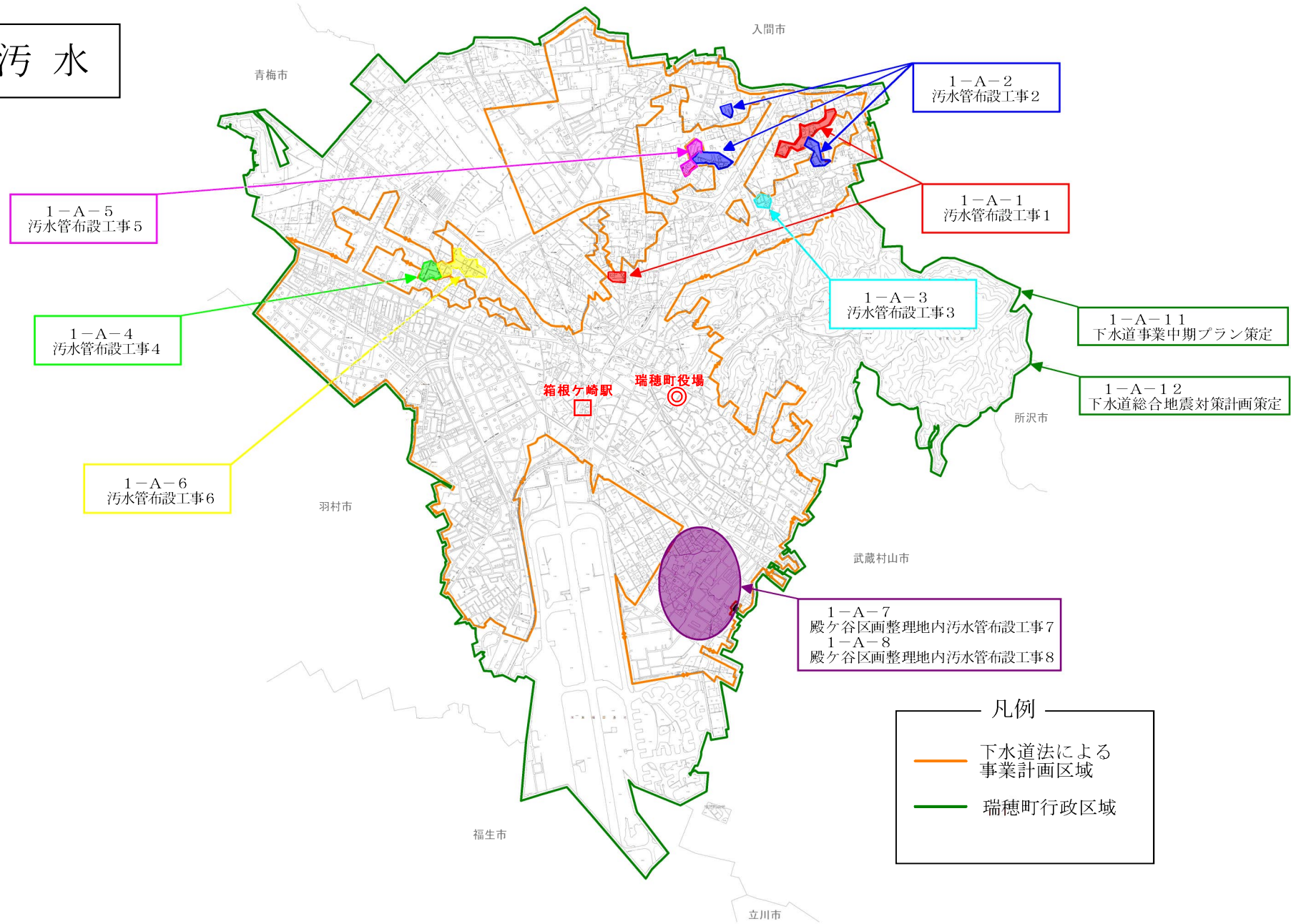
交付対象事業													事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	処理区排水区	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	下水道	一般	瑞穂町	第4処理分区	直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 1	汚水管 φ=200mm L=580m	瑞穂町						42	交付金	
1-A-2	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 2	汚水管 φ=200mm L=492m	瑞穂町							37	交付金
1-A-3	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 3	汚水管 φ=200mm L=168m	瑞穂町							19	単独
1-A-4	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 4	汚水管 φ=200mm L=283m	瑞穂町							18	交付金
1-A-5	下水道	一般	瑞穂町	理第2区処	直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 5	汚水管 φ=200mm L=236m	瑞穂町							31	交付金
1-A-6	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	汚水	新設	汚水管布設工事 6	汚水管 φ=200mm L=96m	瑞穂町							5	単独
1-A-7	下水道	一般	瑞穂町	処理・5分区	直接	-	汚水	新設	殿ヶ谷区画整理地内汚水管布設工事 7	汚水管 φ=200mm L=73m	瑞穂町							3	単独
1-A-8	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	汚水	新設	殿ヶ谷区画整理地内汚水管布設工事 8	汚水管 φ=200mm L=185m	瑞穂町							7	単独
1-A-9	下水道	一般	瑞穂町	1長区排岡水第	直接	-	雨水	新設	長岡第1排水区（雨水管）	雨水管 □3,000mm×3,000mm L= 0m	瑞穂町							0	未実施
1-A-10	下水道	一般	瑞穂町		直接	-	雨水	新設	長岡第1排水区（雨水管）	雨水管 □3,000mm×3,000mm L= 0m	瑞穂町							0	未実施
1-A-11	下水道	一般	瑞穂町	全処理区	直接	-	汚水・雨水	新設	下水道事業中期プラン策定	効率的な事業実施のための基本的な計画策定	瑞穂町							6	交付金
1-A-12	下水道	一般	瑞穂町	全処理区	直接	-	汚水・雨水	新設	下水道総合地震対策計画策定	下水道総合地震対策計画策定	瑞穂町							3	交付金
合計																171			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
											合計		□□			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
											合計		☆☆			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管布設工事を行った結果、衛生的且つ快適な生活環境が向上した。</li> <li>・下水道総合地震対策計画を策定したことにより、地震対策として緊急に実施すべき事業を整理でき、今後の地震対策事業の効率的な実施が出来るようになった。</li> </ul>										
II 定量的指標の達成状況			指標① (汚水整備率)	最終目標値	91.3%	目標値と実績値 に差が出た要因	町単独事業においても、ほかの整備すべき路線の汚水管布設工事を進めたため。						
				最終実績値	91.9%								
			指標② (雨水整備率)	最終目標値	46.0%	目標値と実績値 に差が出た要因		河川協議等の調整に時間を要し、長岡第1排水区の雨水管整備が実施できなかったため。					
				最終実績値	45.9%								
			指標③ (下水道総合地震 対策計画策定率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因							
				最終実績値	100.0%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果発現状況 (必要に応じて記述)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業の基本的方向性を示す、瑞穂町下水道プランを策定したことにより、今後の下水道事業を効率的に進めることが出来るようになった。</li> </ul>										
3. 特記事項(今後の方針等)													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、「瑞穂町下水道プラン」に基づき、汚水の未普及解消事業を実施していく。</li> </ul>													

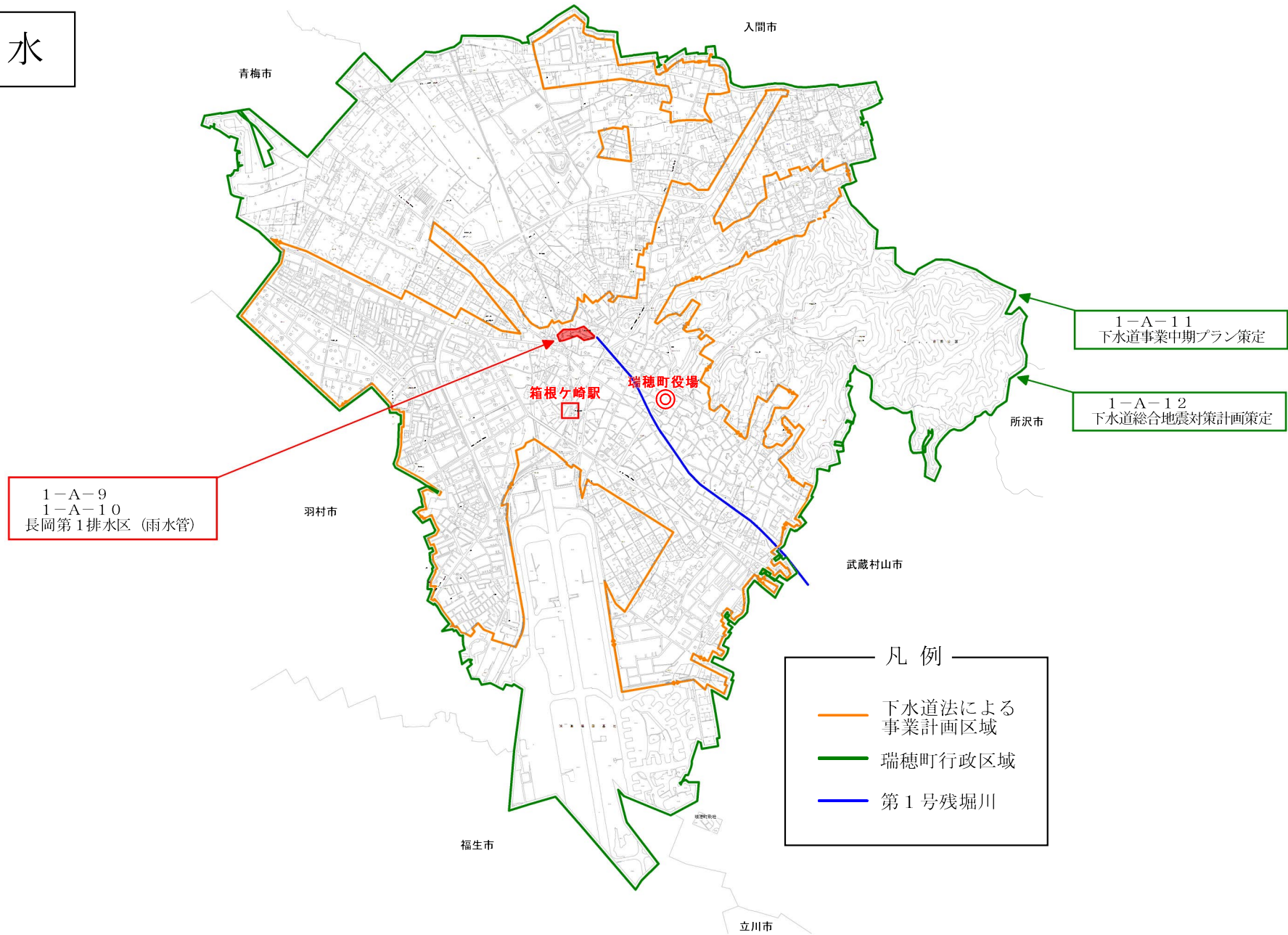
計画の名称	下水道整備における「良好な住居空間作り」		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	瑞穂町

# 汚水



計画の名称	下水道整備における「良好な住居空間作り」		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	瑞穂町

# 雨水



1-A-9  
1-A-10  
長岡第1排水区（雨水管）

1-A-11  
下水道事業中期プラン策定

1-A-12  
下水道総合地震対策計画策定

- 凡例
- 下水道法による事業計画区域
  - 瑞穂町行政区域
  - 第1号残堀川